第４回岩国市肉牛枝肉研究会が開催されました

岩国農林事務所畜産部
平成21年11月16日

　これまでの大規模畜産経営は、飼料の多くを輸入に依存していたため、価格の変動に大きな影響を受けていました。近年、価格が激しく変動していることから、経営安定のため飼料を自給し、安定的に確保することがが重要な課題です。
　そうした中で、県下最大規模の稲発酵粗飼料生産に取り組んでいる柳井市伊保庄の斉藤牧場（水稲・畜産の複合経営）において、収穫・調整が行われています。
　斉藤さんは繁殖牛を100規模まで増頭される計画で、本年度畜舎を新設中であり、地域の畜産の若き担い手として頑張っておられます。

出発式

研修会